7深度測定 TP32MTT.03
6深度測定 TP32MTT.03.1

地中温度プロファイルプローブ

■7段または6段深度測定による地中温度プロファイリング
■WMO準拠、長期高精度・安定計測、RS485Modbus-RTU出力
■土壌親和性の高いプローブハウジング、保護等級IP68

温度プローブTP32MTT.03は七つのPt100センサ(クラス1/3DIN)を内蔵しており、WMO(世界気象機関)要求に準拠して、地面を基準として、+5cm、0cm、-5cm、-10cm、-20cm、-50cm、-1mの7深度の温度を測定します。温度プローブTP32MTT.03.1は六つのPt100センサを内蔵、地面を基準として、+5cm、0cm、-5cm、-10cm、-20cm、-50cmの6深度の温度を測定します。
プローブハウジングの材質はグラスファイバーで、完全な不浸透性と縦方向の高い熱絶縁性を保証します。
Modbus-RTUプロトコルのRS485デジタル出力により、長距離の接続ケーブルの使用が可能です。プローブはデルタオーム製のデータロガーHD32MT.1やHD32MT.3、あるいは他のRS485 Modbus-RTU入力を備えたデータロガーに接続できます。プローブのハンドグリップ部に装着されたM12コネクタにより、ケーブル接続は簡単に行えます。ケーブル(オプション)の片側は切放しで、長さは2m、5m、10mから選択できます。
プローブに対する供給電源はDC6～30Vです。

CE

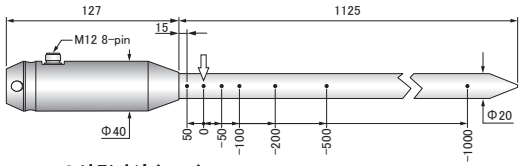
■テクニカルデータ

センサタイプ・クラス	Pt100、1/3DIN(JISクラスA)
分解能	0.01℃
精度	±0.1℃(0℃にて)
動作温度範囲	-40～+85℃
温度ドリフト	0.003%/℃、20℃にて
供給電源	DC6～30V
消費電流	5mA、DC12Vにて
出力	RS485 Modbus-RTUプロトコル
接続	8極M12オスコネクタ
ケーブル(オプション)	8極M12メスコネクタ付、片側切放し、長さ2m、5mまたは10m(ご注文時要指定)

■ご注文コード

TP32MTT.03	7深度土壌温度測定用4線式Pt100温度プローブ、RS485 Modbus-RTU出力、8極M12オスコネクタ装備、オプションケーブルCPM12-8D.□は別途
TP32MTT.03.1	6深度土壌温度測定用4線式Pt100温度プローブ、RS485 Modbus-RTU出力、8極M12オスコネクタ装備、オプションケーブルCPM12-8D.□は別途
CP24	RS485/USBコンバータ内蔵PC接続用ケーブル(PC側USBタイプAコネクタ:プローブ側8極M12コネクタ)
CPM12-8D.2	8極M12コネクタ付ケーブル、片側切放し、ケーブルL=2m
CPM12-8D.5	8極M12コネクタ付ケーブル、片側切放し、ケーブルL=5m
CPM12-8D.10	8極M12コネクタ付ケーブル、片側切放し、ケーブルL=10m
TP32MTT.03A	プローブ挿入穴あけ用ツール
TP32MTT.03B	プローブ所在表示フラッグ

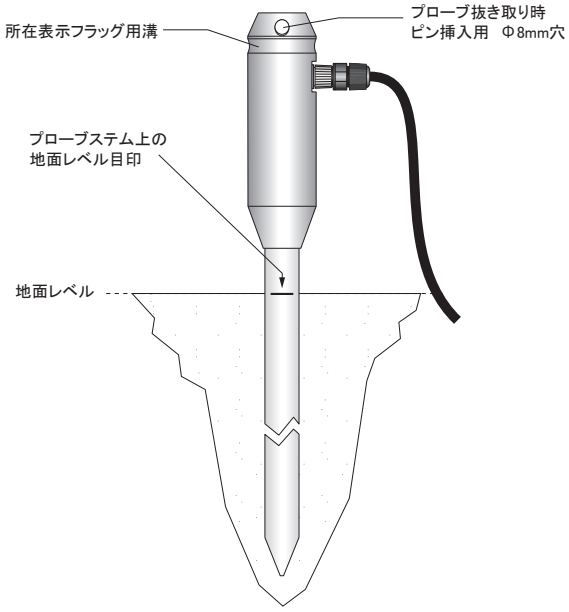
■外形寸法



TP32MTT.03の外形寸法(mm)

■プローブの取付

オプションのツールを使用して、土壌にプローブのステムを収められる十分な穴を設けます。プローブの物理的な損傷を避けるため、決してプローブを穴あけには使用しないで下さい。土壌に穴が開けられたら、プローブ上のゼロレベルの目印が地面のレベルに一致するよう、プローブのステムを穴に挿入します。プローブを穴に挿入したら、プローブと土壌の隙間を土で埋めて下さい。正確な測定を得るためには、土壌とプローブのステムが密着していることが必要です。
土壌のメンテナンス作業時(例えば芝刈り、土"すき"、機械収穫など)の際は、プローブの存在を表示して知らしめて下さい。プローブを土壌から撤去するときは、プローブハンドルの上部にあるφ8mmの穴にピンを挿入して上へ引き上げて下さい。プローブのステムを壊さないよう、プローブは傾けずに真っ直ぐ引き抜いて下さい。



SAKAKI CORPORATION